

4日間 で128人投票

近大、九工大 期日前投票 選管「予想より少ない」

飯塚市選挙管理委員会が県内で初めて、市内の近畿大産業理工学部と九州工業大情報工学部に設置した統一地方選の期日前・不在者投票所での投票が23日、終わった。計4日間で2大学合わせ学生や教職員128人が利用した。

・39%と世代別で一番低く、若者の投票率を上げようと市選管が企画した。中村雅彦選管事務局長は「1日100人以上は投票してほしかった。予想より少なかった」と話す。次の選挙以降も続けるかは、今回の結果

2015 統一地方選

筑豊

4年前の飯塚市議選の投票率は59・19%で、20代は38



を検証して決めるという。

近畿大では、8日に知事選と県議選(12日投票)の期日前13人、不在者1人の計14人が投票した。22日は飯塚市議選(26日投票)の期日前15人、不在者1人の計16人が利用。合計30人だった。

九工大では、9日に知事選・県議選の期日前51人が投票。23日は市議選の期日前47人が利用し、合計98人だった。

23日に投票した九工大大学院1年の杉本友里恵さん(23)は「選挙に行くのは義務だと思う」。札幌市出身だが、食べ物のおいしい飯塚が好きで「選挙公報や候補者のホームページを見て誰に投票するか真剣に考えた」と言う。ただ、九工大はチラシやポスター、のぼりで期日前・不在者投票の告知に努めたが、食堂近くにある投票所の前を素通りする学生も多かった。

(野津原広中)

九州工業大情報工学部のキャンパスで飯塚市議選の期日前投票をする学生(23日)